



創立 1995年 10月 18日

[参加して真に生き甲斐の持てるクラブ]

2014～15年度テーマ ～先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう～

### 第 233 回例会

日 時：平成 27 年 3 月 12 日(木) 11:30～13:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：61 名 欠席者 6 名 出席率 91%

(会員総数 69 名 休会 2 名)

#### 会食とハッピーコイン披露

田中美代子例会委員長の合図で会食を始め、会食中に永井副会長から 13 名のハッピーコインが披露された。(3～4 ページ参照)

開会 田中例会委員長の司会で開会、資料の確認

#### 1. 挨拶 土井会長



今日からサロン第 1 週の講座が始まります。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

講師の方をお願いが一つあります。それは、講師が一方的に話すのではなく、サロンに参加される皆さんの声も取り込んで、よきコミュニケーションの場としていただきたいということです。

ご苦労も多いかと思いますがご尽力いただき、今年も大いに盛り上がることを期待しています。

#### 2. バースデーカード贈呈



土井会長から 7 名の会員に、池田会員の手作りによるバースデーカードが贈られた。(写真左から、田中信昭、根本照代、大串延子、会長、荻島靖之、阿部治子、土井俊雄の皆さん。高橋敏夫さんは欠席)

#### 3. 卓話 介護保険制度について

##### 根本 照代会員



現在の介護保険制度は、平成 12 年 4 月に創設され、今年で 15 年を経過した。その後、制度は何回か改正され、私たちにとって身近で利用しやすいものになってきたが、分かりにくい点も多いので、その体系や具体的な利用方法について述べてみたい。

##### ◇介護保険制度と社会の変化

##### <高齢社会の到来>

近年の高齢者(65 歳以上)人口の推移をみると、1970 年の割合は 7%、2015 年は 26.8%、20 年後の 2035 年には 33.4%と国民の 30%が高齢者となる。また少子化(14 歳以下人口)の傾向も続いており、2010 年～14 年の子どもの割合は 13.2%となる。

##### <平均寿命>

2012 年の統計では男性が 79.94 年、女性が 86.41 年で世界有数の長寿国である。

##### <健康寿命と平均寿命の差>

健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と言われ、2010 年時点で男性が 70.42 年、女性が 73.62 年で男女共に世界一である。

2010 年時点で、平均寿命と健康寿命の差は、男性が 9.13 年、女性が 12.68 年となっており、この差を医療や介護で縮小することが国民の生活の質を上げることにつながるといえる。

## <国民医療費の増大>

年齢階級別の1人当たり医療費をみると、年齢とともに医療費は増大し、高齢化の進展、医療水準の向上などによって国民医療費は年々伸び続け、2011年度の医療費は、前年度比で約1.2兆円増の38.6兆円となった。

## <介護ニーズの増大>

要介護度別認定者数の推移をみると、高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズはますます増大している。

例えば、要介護(要支援)の認定者数は、2012年4月現在で533万人となり、介護保険制度が開始されてからの12年間で2倍以上となっている。

さらに、2014年の認知症患者は高齢者の15%で462万人、予備軍も入れると800万人、高齢者の4分の1となっている。

## ◇これからの介護保険制度

15年前に創設された介護保険制度は、3年毎に見直され改善されてきたが、利用者数の増大に伴い制度の持続性が求められている。

① 給付の効率化・重点化の必要により、保険者である市町村権限が強化され、サービスの適正化を検討。  
② 「明るく活力ある超高齢社会」を構築するため、予防重視型システムへの転換をめざし、軽度者の給付の見直しが考えられている。

③ 効率的かつ効果的な社会保障体系を作るため、社会保障の総合化を図り、年金との給付調整～入所者の費用負担の見直し・包括的マネジメント体制の確立・予防重視型システムへの転換。～等々がこれからの課題となっている。

(本年度は上記の主旨に沿って、介護費用・介護報酬が改定される予定である)

## ◇利用者主体の理念

2000年に社会福祉法が改正され、介護保険制度が始まった時から、「措置」というかたちで収容・保護していたことが、誰でも必要性に応じてサービスを選択し、自己決定(自己責任)という利用者の主体性が尊重・重視されることになってきた。

そして質の高い福祉サービスの拡充と地域福祉の充実をはかり「住み慣れた地域に必要な援助を受けながら、できるだけ自分が望むように生きていく」という自立支援を目指している。更に利用者保護の

ため権利擁護と苦情解決制度を充実する。(成年後見制度・老人福祉施設への措置の支援・高齢者虐待への対応・支援困難事例への対応)

## ◇介護サービスの利用の仕方

資料の「はちおうじの介護保険」「ハートページ」により、

①認定申請からサービスの利用まで ②介護費用 ③ケアマネジャー(介護支援専門員) ④地域包括支援センター(高齢者支援安心センター)などの説明があった。

## 4. 幹事報告 武田幹事

① 市の男女協働参画センターが企画した、介護がテーマの寸劇を見てきました。介護の実態がわかります。これからは夫婦間の介護が増えると思います。本日の卓話の資料を参考にしてください。

② 昨年度会則の変更があった。新しい現行の会則を配布しましたのでご覧になってください。

③ ハッピーコインの活用をよろしく。20周年の資金協力として、一層のご参加をお願いします。

④ メールアドレスの登録をお願いします。委員会の連絡等はメールが便利です。パソコン、ケータイのどちらでも結構です。アドレスをお知らせ下さい。

⑤ 今年の10月からマイナンバー制度が導入されます。銀行口座など個人情報に関わる利用も予想されるので慎重な対処が望まれます。

## 5. 委員会報告

### (1) 例会委員会

田中委員長

出席会員数の報告(前記のとおり)

### (2) 情報委員会

河合委員長

お手元にプロバス日より232号をお届けしました。今月号の編集担当は有泉委員です。投稿原稿を募集しています。会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。

### (3) 会員委員会

岡本委員長

現在会員数は69名ですが、退会、休会が増えています。70名を目指して努力したいと思います。

先月に引き続き、新会員の推薦について皆様のご協力をお願い致します。

### (4) 地域奉仕委員会

寺田委員長

生涯学習サロン開講日の出席状況は、プロバス会

員が 50 人で 75%。一般会員が登録者 80 人中、57 人出席で 71.5%と低調な滑り出しとなっている。

今回のサロンへの一般参加者の状況は、80 人中 23 人 (29%) の方が初参加で、近年になく多い。皆様のご協力に御礼を申し上げます。

## 6. 八王子「宇宙の学校」プロジェクト 下山リーダー

平成 26 年度「宇宙の学校」レポートができました。後援会の皆さんのおかげでとてもよい仕上がりになりました。御礼を申し上げます。

## 7. 創立 20 周年記念事業報告 吉田事務局長

第 7 回委員会の報告です。

- ① 8 月 28 日 (金) 開催の海上自衛隊音楽隊演奏会は、800 席を満席にして盛り上げたいものです。
- ② 宇宙展の内容は確認中です。
- ③ 記念誌の会員自己紹介文の寄稿は 3 月末日が締め切り、写真の撮影は 4 月例会時に行います。
- ④ 予算の詳細は 7 月例会にお伝えします。

## 8. 全日本プロバス協議会報告(7)

### 全日本プロバス協議会副会長 立川 富美代

平成 26 年 11 月 23 日、横浜県民ホールで第 6 回総会が開催され、30 クラブ 227 名が参加しました。八王子からは 21 名の参加があり、総会後の懇親会(萬珍楼)で全国の参加者と親交を温めました。

新会長に横浜の中村實氏を選出、幹事長の森山功氏、副会長の野村浩司氏、古賀靖子氏、立川富美代は留任です。

新年度の事業計画として、①会報の発行、②アンケートの実施、③インターネットの整備、④全国のクラブ動静の報告、などが決定されました。

### ○近畿ブロック大会の案内

2015 年 6 月 5 日 奈良市にて開催

### ○旭川プロバス創立 10 周年の案内

2015 年 6 月 12 日 旭川市にて開催

### ○東日本ブロック大会の案内

2015 年 11 月 24 日 八王子市にて開催予定

## 9. 同好会報告

### (1) ゴルフ同好会 米林会員

多摩、日野、八王子の 3 プロバスクラブ合同のゴ

ルフコンペは、春秋 2 回開催の予定。この春は 5 月 26 日(木)になります。八王子クラブの単独コンペは 4 月 28 日(火)の予定です。

### (2)俳句同好会

### 河合会員

自選句集「夕やけ」第 2 号ができました。残部が 3 冊ありますので、ご希望の方にさしあげます。皆さんの句会へのご参加をお待ちしています。

## 10. その他

### 例会委員会

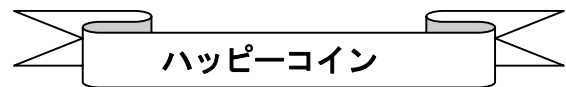
次回サロンは、3 月 26 日(木)です。サロン参加費 1,000 円と野外サロン参加費 7,000 円を徴収しますのでご用意ください。

## 11. プロバス賛歌斉唱

## 12. 閉会 永井副会長



本日の卓話にありましたように、高齢化社会に生きる私達ですが、なるべく介護制度のお世話にならずに、健康に暮らしたいと心から願っています。それでは、これから始まるサロンのご準備よろしくお祈いします。



◆3 月 3 日、二人目の孫娘の初節句を祝いました。

馬場 征彦

◆末の孫娘が大学入試にチャレンジ、慶應義塾大学に合格しました。このところ受難続きの我が家にとって久々の吉報です。孫の成長は早いです。

佐々木研吾

◆ハプニングが発生し、うろうろしていたら大勢の人がたちまち動いて解決してくださいました。

さすがプロバス会員、ありがとうございました。

浅川 文夫

◆おかげ様にて、東阿部流雪松(せっしょう)御家元より雪号を授与され、雪瑤(すいしゅん)となりました。よろしくお祈い致します。

阿部 治子

◆今月喜寿を迎えました。一病息災ならぬ二病息災で元気に過ごしたいとつくづく思います。

土井 俊雄

◆とうとう八十姫となりました。これからも元気でいたいと思います。 大串 延子

◆先日3月3日の誕生日で、ついに私も後期高齢者の仲間入りをするようになりました。

「傘寿までいけるか梅もほころびて」田中 信昭

◆今年10月で80歳になります。健康で10月を迎えられるよう頑張らないでいこうと思います。傘寿を迎えられることに感謝、感謝。 土井 俊玄

◆俳句同好会で、句集「夕やけ」第2号を発刊しました。ハッピー！ 飯田富美子

◆先月の麻雀同好会で役満、国士無双をあげました。良運が来たことに感謝。 山口 三郎

◆2月28日、八王子由井吹奏楽団第28回定期演奏会終了。ご来場の皆様ありがとうございました。

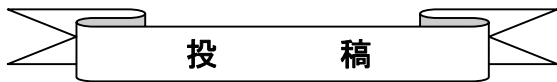
武田洋一郎

◆飛鳥の旅を堪能、山の辺の道を探索してきました。

野口 浩平

◆今月で74歳。過日高齢者の運転講習に行き、すべてがよし。年齢は40代、眼もよし、運転も非常にうまいとのこと。 荻島 靖久

◆初孫が都立高外国語科に合格する。ジイジもハッピーである。 荻島 靖久



### 「バイエル」から「第九」のソロまで 山形 忠顯



17歳の夏、声楽への進路を決定した。勉強を始めてまず困ったのはピアノの実技である。東京藝術大学の入試課題は「ハノンピアノ教本」の全24音階と古典派ピアノソナタの演奏。弾いたこともなく、家にはピアノもない。兎に角実行と

「バイエルピアノ教本」を買ってきて、学校（東京教育大学付属駒場高等学校。以下「教駒」）に願い出たところ、音楽室と講堂のピアノの使用許可がでた。たった1人の音楽志望の生徒のためにそのような配慮をしてくれた教駒の処遇は、本当に有難いことだった。以後、始業前、空き時間、放課後、日曜日・祝日も、存分にピアノの練習に励み、ソナチネまで弾けるようになった。

しかし藝大は不合格。浪人になって困ったのはピ

アノである。もう教駒には行けないし、貸しピアノを借りる金はないし、知人のピアノも偶にしか借りられない。切羽詰って、家近くの区立中学校に頼みに行ったが駄目。ところが数日後、当該校の音楽担任、岡恵誉氏（二期会の新進音楽家）が訪宅され、「ピアノが弾けて歌の勉強にもなる仕事がある」と連れて行かれたのが国会議事堂至近のGHQチャペルセンターで、指揮者中田羽浅に認められクワイヤに採用された。礼拝堂の他にたくさんの個人練習室（ピアノ設置）があり、聖歌の練習と礼拝時の仕事の他は自由という厚遇だった。

やっと受験準備を進められるようになって、なんとか東京学芸大学音楽科に入学できた。満州からの引揚げ、母子世帯ということで授業料免除、日本育英会奨学金給付生となったが、家庭教師とカワイ音楽教室講師と二期会合唱団囑託とアルバイトに励んで、遂にピアノを購入した。それから十分に勉強できるようになって、声楽の技能も上達した。

中3では「メサイア」のバス、教駒の声楽志望決定時にはバリトンだったが、秋元雅一朗先生の指導でテノールに開眼し、3年次、沖不可止指揮、都民交響楽団のベートーヴェン「第九交響曲」のテノールソロを唄ってデビューを果たした。「バイエル」を弾き始めてから7年、やっと日本楽壇の一角に辿り着けたのだった。

### タイ在住の日本人写真師に自分史を書くことを勧めた頃を思い出して 橋本 綱二



国際協力事業団（JICA）の専門家として1974年タイに派遣された当時のタイの情勢などを調べているうちに、「シヤムの日本人写真師」という本の紹介記事に当たり図書館で借用して読んだのは2005年のことであった。

この本の題に惹かれたのは、1914年14歳でタイに渡り、写真師として活動した波多野秀さんのことが思い出されたからである。チェンマイで私の住んでいた家に、彼が訪ねてきたことから交際が始まり、タイでの体験談を幾たびも聞くことが出来た。タイで戦前・戦時・戦後を生きた話は是非記録しておくべきと感じたので、書くように勧めた。記録として



残しておけば、後に生きると考え、それが引き金となってさらに書き進めたいと願って小冊子を作ることにした。波多野さんの原稿を当時病院で奉仕活動をしていた穂積夏さんがガリ版切りして印刷、諸費用は私が持ってまとめた奥付もない粗末な小冊子が「タイ国在住六十年 思い出すままに」であった。

私にとってもう一つの動機付けは、父が庶民の生活に根ざした文章と記録を重視する「万人の文章(ふだん記)運動」を広めつつあった時期で、庶民の自分史ともいえるべき本作りの話を聞いていたことである。1974年8月には歴史家の色川大吉先生が中央公論に「昭和精神史序説 現代の常民 橋本義夫」と題し、百枚を費やしてその生き様を紹介、「ふだん記運動」についても高い評価をされた時とも重なる。



「シャムの日本人写真師」は朝日新聞松本逸也記者が著者である。日タイ修好百年の記念展のために古い写真をバンコクの国立公文書館で探していたことから、明治時代にタイに渡った二人の日本人写真師に惹かれ、タイや日本で出自や事跡を調べ始め、執念で5年半後の92年に本にまとめた。その頁をめくると、波多野秀さんからの聞き取りや所蔵写真も掲載されていたばかりか、小冊子が参考書籍に入りあちこちで引用されていたので嬉しくなった。彼は主役ではないが、重要な脇役として取り扱われている。私が40年前に願って果たせなかったことが叶えられた。

波多野秀さんとは帰国後も賀状のやりとりをしていたが、83歳の記念と書かれた立派なポートレートが届いてから消息は途絶えてしまった。しかし、明治生まれの気骨を持つ75歳前後の彼と一緒にチェンマイの家で撮った写真や、彼から頂いた象を写した作品が小冊子とともに今でも残っている。

## 鈴木先生へ(お礼)



ポックリ逝ってもおかしくない状態だと聞き流石に

## 大高 秀夫

前略 過日はご丁寧にお電話を頂きまして誠にありがとうございました。半年ほど前にノエルの咳がひどく苦しそうなので先生に診て頂きましたところ、心臓が異常に肥大していて、いつ

驚きました。暫くは薬の効果もあり咳も軽くなり食欲も旺盛で順調に過ごしておりました。

毎日の散歩も歩くというより、私が公園の丘の上まで抱いて行き排便して帰ってくるという日々でしたが、6日の夕方いつものように公園に行って排便を始めたとたんヨロっとして……。すぐ抱き上げましたがその時前足を2・3回もがくように動かしましたので、これは一大事と急いで家に帰りましたが、10分ほどで遂に心音が途絶えてしまいました。ノエルは私の腕に抱かれたまま、後一か月で15歳になるという天寿を全うし、17時20分安らかに黄泉の国へと旅立って行きました。来週になったら鈴木先生にしっかりと診て頂かなければと思っていた矢先に、こんな事になってしまいあまりにも突然のことで、残念で悔しくて暫くは眠れぬ夜が続きました。

ノエルとの出会いは何気なく入ったペットショップで、たまたま目線が合ってしまい、連れて帰る事になり、幼い仔犬の飼い方も躰の仕方も知らない初心者私との生活が始まりました。

「目は口ほどにものを言い」という諺がありますが、物言えぬ彼との会話は目線を合わせてしかできません。私と話をするのが大好きで、いつもしっかりと私の目を見て聞いてくれました。そんな彼にも表情がありまして、嬉しいな・悲しいよ・寂しいよ・僕も連れてってとか、その表情を読み取ってあげられるようになってから、一層愛しさが増してきました。また、その真っ黒な円らな瞳、この瞳にどれだけ和み癒されたことか、これこそ私にとって最高の至福の一時でした。



もう一つノエルから貰った大事なものがあります。定年後私はルーズな生活をしていましたが、ノエルが来てからは毎朝6時に起きて散歩に出かけることから始まり、彼の生活のリズムに合わせて規則正しい生活をして来たお蔭で、現在の健康を保持していられるのです。ノエルから貰った大事な健康ですから、これからも朝の散歩はいつまでも続けて行きたいと思っています。

2年前私が傘寿を迎えた時に、お前を看取るまでは絶対に元気であるよう頑張るから心配するなとノエルと約束をしました。その時がこんなに早く来よ

うとは思ひも寄らず、好きなものをもっといっぱい食べさせてあげてあげればと反省しきりですが、折角ダイエットしてきたのに、これ以上心臓に負担をかけてはと心を鬼にして、ノエルのためにと堪えてきました。

今更何を言っても仕方がないことですが、約束どおり私が元気なうちに看取ってあげることが出来て良かったと前向きに考えて、今まで私と一緒に楽しい時間を沢山過ごしてくれて本当にありがとう。

しかし、この14年半の間に私の心の奥底まで入り込んでいて、私の80余年の人生でこれほどの衝撃と悲しみを体験したことはありません。ノエルは私に老々介護の手間をかけること無く、本当に親孝行な良い子だったと感謝しています。

そんなことで私としては最後のお別れはゆっくりと時間をかけて送ってあげたいと思い、何にも所用のない10日に茶毘を予約しました。

霊園の係の方がとても親切で丁寧にして下さり、骨を一つひとつ綺麗に並べて説明して下さいました。以前鈴木先生にも「ノエル君は歯がとっても綺麗だね」と褒めて頂きましたね。大好きな硬いジャーキーがいつまでも食べられるようにと、10歳を過ぎた頃からですが歯磨きを始めたその効果だと思えます。

取骨を済ませたノエルの小さな骨壺を我が家に連れて帰りました。骨壺に収めてから益々悲しさが増して来て、生前の姿を思い出しては涙があふれてきて、絆の深さをしみじみと感じています。今更どうしようも無いことですが、もう一度鈴木先生に診て頂いてからという思いだけが心残りです。終始ノエルのことをご配慮くださりまして誠にありがとうございました。

これから又、二代目のノエルとの暮らしをといても私の年齢ではとても無理なことです。楽しかったノエルとの生活を夢に見ながら、円らな瞳と最後に抱いた時の腕の温もりを大切に、残り少ない余生を過ごして行きたいと願っています。

取り留めの無いことを長々と失礼いたしました。これからは病院に伺うことも無いと思います。長い間お世話になりました院長はじめ先生方・スタッフの皆様にもよろしくお伝えくださいませ。真にありがとうございました。草々

## 俳句同好会便り

河合 和郎

### 私の一句～3月の句会から

3月に句集「夕やけ」の第2集を発売した。メンバーの1年間の労作が各12句ずつ掲載されている。4月には桃源郷での吟行会も予定されている。

#### 木々芽吹くつんつんつんと背伸びして

池田ときえ

絵心の繊細な観察眼から生まれた一句。木々の芽吹きは“つんつん”として鋭く一直線。

#### 印伝の粹ふところに春の宵 田中 信昭

いい雰囲気の句。今は昔の良き時代の一コマ。きつと小粋なお姐さんが待っていてくれるはず。

#### 梅香るさきたま古墳玉の山 飯田富美子

うまく詠んでいる。「玉の山」がいい。古代のロマンを感じさせる一句が旅から生まれた。

#### 雪曇り天地の間合ひ狭まりて 東山 榮

雪空の重苦しい感じをうまく詠めた。何かが起こりそうな今の世相をも重ね合わせている。

#### 大自然どこまで病むか減る燕 馬場 征彦

高点句。誰もが異常気象に関心を寄せている。身近な小鳥たちが減っている自然界の危機。

#### 舟唄も風雪の中最上川 渋谷 文雄

冬の旅の一句。着想がいい。旅でも句作を忘れない意欲。舟唄が聞こえてくるような。

#### つばくらめ丹沢一旋富士を指す 山形 忠顯

自宅からの景とか。丹沢や富士を背景にした雄大さがいい。燕の躍動感が伝わって来る。

#### 春耕や鋤の一打ち土匂ふ 石田 文彦

高点句。春の耕作の喜び。大地を鋤き起こすたびに土が匂う。自然との一体感が素晴らしい。

#### 血統も野良もごちゃごちゃ猫の恋 河合 和郎

恋には地位も身分も不要。猫の恋は正にその信念を貫く。ひたすら突進あるのみ。羨ましい限り。

編集後記：サロンの開幕と共に気忙しい春が始まります。先輩諸兄のご指導で何とかプロバスだより233号を仕上げました。ありがとうございました。キーボードに多少馴染めたのが収穫です。

編集担当 池田ときえ

